

<現況調査票（2021年5月改訂版） 記入上の留意点>

★「現況調査票」入力フォームの薄黄色部分が入力対象箇所になります。

1. 基本情報

1-1. 概要

「ホームページURL」

- i) 5言語以上の外国語対応がある場合は、行を挿入して入力してください。
- ii) 準備中の場合は、その旨を入力してください。

(例)「準備中（2021年10月に開設予定）」

「外国人対応部署」

- i) 専門部署がない場合でも、外国人患者の対応を担当する職員が所属する部署名を入力してください。
- ii) 専門部署がない場合、「部署構成」は、外国人患者の対応を担当する職員について入力してください。

1-2. 第三者認証

- i) 認証審査の対象となるためには、認証審査会開催（訪問調査の1～3ヶ月程度後）の時点で、記載の5つの認証・認定制度のうち1つ以上を取得していることが必要です。そのため、更新受審中または新規受審中の場合は、必ず認定見込時期を入力してください。

1-8. 事務部門外部委託状況

- i) 事務部門において外部委託の部署がある場合、入力時点での委託割合の概数（%）を入力してください。
- ii) 1～6以外の部署については、その他に部署名を入力してください。ただし、患者対応がある部署のみで構いません。

2. 患者数および職員数

2-1. 直近3ヶ月 外国人患者数

a. 国籍別 外国人患者数

- i) 入力時点のなるべく直近（少なくとも1年以内）の3ヶ月間で集計してください。
- ii) 「新外来患者」とは、初診料の算定対象患者と考えてください。同一患者でも3ヶ月の間に「初診で来院 ⇒ 治療が一度完結 ⇒ 再び初診で来院」の場合は「2人」とカウントしてください。再診患者はカウントしません。
- iii) 「新入院患者」も同様に、3ヶ月の間に、「入院 ⇒ 退院 ⇒ 入院」であった場合は、「2人」とカウントしてください。
- iv) 国籍が不明な患者については、「その他」に算入してください。
- v) 国籍の情報を収集していない場合は、おおよその概数を入力し、その旨を「特記事項」欄に記載してください。概数も把握していない場合は、無記入とし、その旨を「特記事項」欄に記載してください。

vi) 「健診受診者」は、一般健康診断や人間ドック等の受診者を指します。

2-2. (2-1.と同時期における) 対応言語別 外国人患者数 (人)

i) 「新外来患者」、「新入院患者」の定義は、上記「2-1」と同様です。

ii) 一人の患者に対して、場面の違いなどに応じて複数の言語で対応した場合は、そのうちの主な対応言語一つで代表させてください。ただし日本語での対応は除きます。

(例/受付・会計や検査では日本語で対応、診療では主に中国語、一部だけ英語で対応
⇒ 「主な対応言語」は中国語)

iii) 患者の同行者によって通訳が行われた場合でも、患者本位に考えて、対応言語は外国語と見なしてください。

(例/ベトナム人患者が同行者の通訳で受診 ⇒ 「主な対応言語」はベトナム語)

iv) 外国籍でありながら、日本語だけで対応できた患者数を「日本語だけで対応した外国人患者数」に入力してください (把握できている限りの数で構いません)。

2-3. (2-1.と同時期における) 外国人患者滞在状況

i) ここでは外国籍の患者について、日本での滞在状況別の割合の概数を把握できている限りで入力してください。「特記事項」には、滞在状況に関する貴院での把握方法や、国別の特徴などを記載してください。

ii) 国籍の情報を収集していない場合は、外国語対応を行った患者数などをベースに、滞在状況の割合の概数を入力して下さい。

2-4. (2-1.と同時期における) 外国人患者の医療保険加入状況

i) 「2-3」と同様、外国籍の患者について、医療保険加入状況を入力してください。

ii) 国籍の情報を収集していない場合は、外国語対応を行った患者数などをベースに、医療保険加入状況を入力してください。

2-6. 職員数

i) 「医療通訳者」とは医療知識や通訳倫理も含めた専門スキルを有し (医療通訳に係る資格保有は必ずしも必要ではない)、診療場面での通訳が可能な人材で、専従である必要はありませんが、主たる担当業務が医療通訳である職員を指します。

ii) 「外国人患者受入れ医療コーディネーター」とは外国人患者の受入れにあたり、通訳者の手配および院内各部署や外部との連携・調整等を行うものを指し、専従である必要はありませんが、主たる担当業務が外国人患者受入れ医療コーディネーターである職員を指します。

3. 入院体制

3-1. 看護等体制

一般病棟に関して、該当する入院基本料に○を選択入力してください。

3-2. 院内環境

「祈祷室」

i) イスラム教徒用の祈祷室、キリスト教礼拝室等が該当します。概要を右の特記事項欄に記入して下さい。

ii) 通常は他の用途に利用しているが、礼拝のリクエストに応じて祈祷室 (祈祷場所) として提

供できる場所がある場合は、「3-3.多文化や宗教に関する対応」欄に、その概要を記入してください。

「食事」

- i) 完全な宗教食対応でない場合も、ある程度の配慮が可能な場合は「選択食」としてください。また、その対応の概要を右の特記事項欄に記入して下さい（「豚肉の他素材による代替は可能」など）。
- ii) 「ハラールキッチン」は正式なハラール認証を得ている場合に限りです。

4. 外国人患者への対応状況

4-1. ①言語別 対応方法

- i) 日常会話レベルの語学力があり、受付・会計等での通訳が可能な場合、「○」を選択してください。
- ii) 専門的な医療用語を用いて、診療場面等での通訳（医療通訳）が可能な場合、「◎」を選択してください。

4-1. ②具体的な言語対応方法

「(c-1) 外部派遣通訳の提携先（医療通訳対応可）」

「(c-2) 外部派遣通訳の提携先（医療通訳対応不可）」

- i) 外部派遣通訳について、医療通訳（専門的な医療用語を用いて、診療場面等での通訳が可能）の可否ごとに、対応可能な時間や曜日を入力してください。

「(e-1) 外部派遣通訳の提携先（医療通訳対応可）」

「(e-2) 外部派遣通訳の提携先（医療通訳対応不可）」

- i) 上記 (c-1) (c-2) と同様

4-4. 外国人患者の自費診療における料金設定（1点あたりの金額）

- i) 外国人患者の自由診療における料金設定について、診療報酬の倍数計算で設定している場合1点あたりの金額を入力してください。
- ii) 上記以外の設定があれば、備考欄に入力してください。

4-5. 通訳費用の負担方法

- i) 外部通訳サービスの利用による費用負担について、現状での院内の取り決めについて記載してください。

4-6. 過去1年間の未収金発生状況

- i) 未収金とは、「患者が支払う医療費のうち、支払われるべき期日までに支払われなかったもの」と定義します。当初より分割払いを設定し、支払い期日までに滞納なく支払われている場合は除きます。
- ii) 同一患者が、同一案件について複数回の支払期日について未納であった場合も、1件としてカウントします。

5. 診療実績

5-1. 特長といえる診療または治療、手術実績

行が足りない場合は、行を挿入して入力してください。ただし、全てを網羅しなくても、代表的なもののみで構いません。

5-2. 先進医療について

行が足りない場合は、行を挿入して入力してください。ただし、全てを網羅しなくても、代表的なもののみで構いません。

6. 診療実績・特記事項

6-1. 地域における外国人の動向や特徴

地域における訪日外国人および在留外国人の近年の傾向や特徴について、記載してください。

6-2. 外国人患者受入れに関する方針

外国人患者受入れに関する、貴院の方針や考え方について記載してください。

6-3. 外国人患者受入れに関する特記すべき取組み

外国人患者受入れに関して、貴院において特記すべき取組みがある場合、記載してください。

(本現況調査票に記載の内容に関する補足説明でも構いません)

6-4. 国際医療交流に関する取組み

海外医療機関との連携やスタッフ派遣、研修受入れ等の他、地域の外国人コミュニティとの連携・交流など、国際医療交流や異文化交流に関する取組みがある場合、記載してください。

以上